

2017年3月02日

次世代のレーザー技術 DDL(ダイレクト ダイオード レーザ)を採用 高速・省エネ・高品位加工を実現するレーザー加工機 OPTIPLEX 3015 DDL

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、最新のレーザー技術である DDL(ダイレクト ダイオード レーザ)を採用した新型レーザー加工機 OPTIPLEX 3015 DDL の日本での販売を開始します。

DDL は、現在主流となっている CO₂ レーザやファイバーレーザに続く、次世代のレーザー技術です。CO₂ レーザやファイバーレーザに比べて波長が短く各種材料での熱吸収率が高い(反射率が低い)ことから、高反射材の切断や薄板・中板の高速切断に適しています。またエネルギー変換効率は CO₂ レーザの 4~5 倍と省エネ性が高いことも特徴です。

OPTIPLEX 3015 DDL は、DDL の特徴を活かした高速・省エネ加工に加え、レーザー光を制御するマルチコントロールタッチや各種インテリジェント機能による高品質かつ段取時間を短縮した高効率な加工を実現します。また高速・高精度制御を可能とする新開発の CNC 装置 MAZATROL PreviewG を搭載、19 インチの大型タッチパネルやエルゴノミクスデザインの採用により操作性をさらに向上させました。

当社は昨年ドイツで行われた国際板金加工見本市 EuroBLECH 2016 と米国で開催された FABTECH 2016 に OPTIPLEX 3015 DDL を出展、既に海外での販売を開始しています。それに続き、このたび3月2日、3日に美濃加茂製作所ワールドテクノロジーセンターで開催する「MAZAK Laser Technology Fair」に同機を出展し、日本国内での販売を開始します。



ダイレクト ダイオード レーザ加工機 OPTIPLEX 3015 DDL

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください